

## 卒後 50 年記念同期会、128 名で盛大に祝う！

9 月 17 日(土)、@上田

我々65 期は、昭和 42 年(1967 年)3 月、上田高校の「古城の門」を卒業して今年でちょうど 50 年(半世紀)を迎える。

人生の節目でもあるこの時期に、記念同期会を地元で開催することとなった。

9 月 17 日(土)の午後、すっかり秋の気配の上田に各地から 128 名が参集した。

会場はこれまで何度か同期会会場となった「香青軒」(上田市中央 3 丁目)である。

1 年以上前から幹事団により周到に準備されたこともあり、128 名というこれまでの同期会で最大人数が参集して大盛会となる。

128 名の内訳は、クラス別には 1 組と 11 組が出席 17 名とトップを分け合う。

女性の参加は 11 名。海外からはインドと中国在住者も。国内は関西・中部から 4 名、関東から大挙 53 名が駆けつける。

参加者が 130 名近くなると、開宴前の受付は大混雑となり、そこかしこで「卒業以来だね！」といった会話が飛び交い既に盛り上がっている。

受付ではお土産に卒後 50 年記念誌 DVD が手渡され、会場スクリーンには記念誌のスライドショーが校歌をバックに流れているのも嬉しい。

広い宴会場にはクラスごとに 15 の円卓が並び、全員着席すると壮観である。

15 時過ぎ、いよいよ開宴。会の司会は小山田秀士(7 組)と増澤賢一(9)のコンビにより終始スムーズに進行する。

冒頭、代表幹事の布施修一郎(6)からの挨拶があり、現在推進中の記念募金は目標まであと 1 歩というところまで来ているので更なる協力と呼びかける。

次は、記念誌 DVD の編集責任者である上原昇(2)が登壇して、記念誌の PR と投稿に対する謝礼のスピーチが続く。

待望の懇親会は、元生徒会長の牧野泰晴(1)の乾杯発声でスタートする。

宴たけなわ、喧騒の中、クラス別紹介が始まる。くじ引きで決まった順番でクラスごと全員が登壇。クラス代表による一言とメンバー紹介そして記念撮影があるが、中にはどうしても喋りたい人が出てきて予定時間がオーバーしていく。



その後、女性出席者全員が揃って登壇し、マドンナたちのスピーチを聞く。

その頃、各テーブルには澤崎健一(3)のデザインによる特製色紙が配られ、クラス別寄せ書きが行われる。

次のコーナーは現在活動中の七つの各種同期会、同好会について各代表から会の PR と勧誘があるが殆ど誰も聞いていない状態。

会も 3 時間を経過して最高潮に達した頃、応援団 0B の 4 名(西村賢治(9)、荻原薫(8)、田中建一(11)、増澤賢一)のリードで校歌、凱歌の斉唱が轟き渡る。



そして集合写真の撮影は会場の一部を片付けて、当日カメラをお願いした A 女史の指導のもと、多段のひな壇に整列するところ

から始まる。120 名を超える酔っ払い達をちゃんと写すのは大仕事であった。

最後は女性を代表して丸山はる代(3)が「次回は古希を記念して集まろう」との言葉で中締めとなる。

15 時からの 3 時間半の長丁場の会もこれで無事お開きとなった。

その後は、皆さん、各クラス二次会やプライベートな集まりにと散っていった。

二次会の様子は HP で本編とは別に特集を順次組みますのでご覧ください。

会を振り返って、代表幹事の布施君からコメントが、「参加人数の目標は 120 名でしたが、これをクリアーして最終的には 128 名だったことは、幹事として大変喜ばしく思い感謝申し上げます。次回は 2 年後の古希記念同期会ですが、今回以上の参加者になればよいのですが。どうでしょうか？」

司会で大奮闘の小山田君からは「進行役をと頼まれて、同期会の成功に役立つならと引き受けました。大勢が参加し、何年ぶりの再会での懐かしさと酒食の喧騒の中で予定通り進むのかが心配でした。増澤君のサポートや幹事団そして同期生全員の協力ではぼ予定した内容が出来て良かった。やはり 65 期は素晴らしい。」皆さんお疲れ様でした。

記念誌 DVD を見たり聴いたりした人の感想を紹介します。

- ◆ 記念誌の内容は量質とも豊富で読み応え聴き応えがあった。有難うございました。(11 組の N 君から)
- ◆ 表紙のデザイン素敵です。大変なご苦勞の賜物、拝読するのが楽しみです。本当にありがとうございます。(10 組の K さんから)
- ◆ 頂いた DVD を拝見しました。大作の一言に尽きますね。びっくりするくらいのボ

リユームでした。寄稿させていただき有難うございました。(物故した 4 組 N 君の息子さんから)

- ◆ 読み進めるうちに次第に引き込まれ 3 時間を経ておりました。
- ◆ 実に面白く感慨深いものがありました。育った場所も学んだ学校も異なりますが同時代を生きた一人として読み応えがありました。主人の遺影に供えましたら笑っていました。(物故した 10 組 T 君の奥様から)
- ◆ この度は卒業 50 周年記念誌 DVD をご恵送戴きありがとうございました。早速、PC で拝見しました。見事な出来栄です。世代の違いを痛感しました。54 期の記念誌編集委員会では DVD の発想は全くなく、最初から冊子の発行でした。(54 期 K 氏から、54 期卒後 55 年記念誌の編集委員)

以上

【記念同期会幹事一同】

代表幹事: 布施修一郎、幹事: 上野政博(2)、中村幸男(4)、手塚正(5)  
小山田秀士、柳澤英明(9)、増澤賢一、上原昇(文責、16 年 9 月 26 日記)

次ページ以降に写真、東信ジャーナル記事

【写真1】出席 120 数名による全員集合写真



上田高校65期 卒後50周年記念同期会

2016年9月17日

【出席者一覧】

組	氏名
1組 17名	岩崎ひとみ、岩前美恵子、恩田隆、北澤光二、工藤良一、黒沢利直 高寺賢吉、島田甲子雄、竹下通廣、田中穂積、田村栄治、土屋富志夫 牧野泰晴、宮崎重信、柳沢賢次、吉池文男、吉田一雄
2組 11名	田中由紀子、上野政博、上原昇、小宮山豊、小山寿一、関賢治、田中昇 日野博明、松本勉、丸山幸雄、横山勇徳
3組 9名	丸山はる代、北沢育夫、沓掛文夫、小島幸一、小宮山健一、澤崎健一 中澤等、原田義則、柳澤光美
4組 11名	増澤啓子、浅倉英樹、井出正三、関森寿一、滝沢克俊、瀧沢政視 中村幸男、成澤文和、丸山暢久、山辺良樹、若柳直人
5組 13名	田中裕子、伊藤高志、大沢秀敏、折井正博、田中利喜夫、手塚正、森則雄 戸叶秀晴、富田篤、中沢忠繁、中曽根隆義、本田光芳、宮下勇一
6組 9名	石井房枝、大町教子、栗林みよ子、小田切直人、菊池憲一、塩川明男 布施修一郎、松崎伸一、宮川恵三
7組 12名	池田恵一、小川達朗、小山田秀士、小嶋進、櫻田喜貢穂、佐藤徹郎 滝沢博俊、中村宣夫、西澤省悟、安川莊太郎、山口武、吉池幸男
8組 6名	田口令子、青松英和、荻原薫、斎藤克博、高橋周三郎、山浦陽士
9組 14名	赤尾晴夫、甲田幹夫、田中光幸、土屋啓郎、西澤良幸、西村賢治 保屋野良治、増澤賢一、牧野泉、丸山隆平、宮原豊、柳沢英明 若林健、塚田修
10組 9名	神田愛子、柿崎良男、佐藤彰、神宮進、関口修一、宮崎光明、宮沢憲一 山浦信幸、山極時生
11組 17名	青木潤一、居鶴貞美、岩崎和雄、荻久保一男、倉沢勝弘、小出俊 輿水草比古、清水公男、田尻英敏、田中建一、中村良一、中山正光 羽田義久、福沢源一郎、丸山敏明、村田政夫、山岸敏夫
合計 128名	

【写真2】 パーティ風景(1)、右端は司会の小山田君



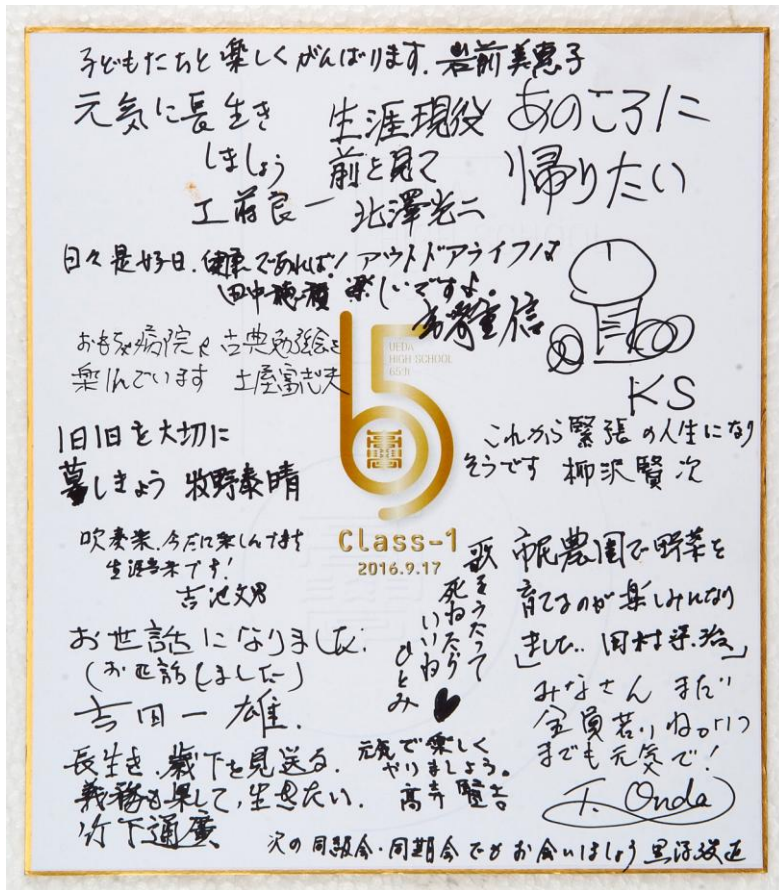
【写真3】 パーティ風景(2)



【写真4】 マドンナたちの集合写真



【写真 5】 1組の寄せ書き(11クラスの参加者全員が書きました)



【写真 6】 卒後 50 年記念誌 DVD 盤面(デザインは澤崎健一君による)



昭和42年上田高卒65期「卒後50周年記念大会」

128人参加、旧交を温める

50年記念に  
DVD記念誌



卒業50周年記念大会の参加者

ご購入申し込みは●読売上田サーブスTEL0268(38)7227●佐藤

昭和42年3月上田高校を卒業した65期(1クラス、470人)は卒後50周年記念大会をこのほど上田市の香青軒で開き、128人が参加して旧交を温めた。

同期会だより

代表幹事で歯科医の布施修一郎さん(上田市)は「これまで選歴や卒業後50周年など節目で開いて

て編集した。紙の記念誌にする2500ページで1冊4000円になつてしまったため、た